

平成22年秋季駐車場研修会 参加レポート

チェコ編 / 10月9・10日

埼玉駐車協会
(有) 西橋商事 橋本 直子

今回の駐車場研修会の行程には、ドイツの他にチェコが含まれていました。参加者の内、チェコには来た事が無い方が殆どだと思われました。プラハには前日の夜遅く到着しました。朝のプラハ城迄の散歩で、ガイドのマルガリータさんから道路駐車について説明がありました。駐車する方は、市から駐車券を購入する仕組みになっているそうです。ちなみに駐車料金は、居住者と高齢者は年間1,000円。そして一般の方は年間7,000円です。店舗を出している人は、年間300,000円になるそうです。綺麗な街並みを一望でき、参加者の多くは感動に浸っていました。私もプラハ城はじめ素晴らしい眺めに見入っていました。



聖ヴィート大聖堂（プラハ城内）



駐車ステッカーを貼った自家用車

翌日は、プラハ市内にある市民会館前の共和国広場地下公共駐車場を見学しました。ショッピングモールの地下（B1～B3）にある駐車場でした。収容台数は、900台で24時間営業です。柱が太く前向き駐車をしていました。車止めは有りませんでした。障害者用の駐車スペースは、他に比べて広がっていました。脇の方には洗車場が有り、覗き込みましたら、ユニフォームを着た従業員が作業していました。壁には、カラフルなメガネ、そして映画の宣伝が有りました。



PALLDIUMショッピングモール



車止めのない駐車場

精算機の使用方法は、カードを入れて使用言語を選び、そしてお金を入れます。希望者には領収書が発行されます。精算後15分以内に退場しないとイケません。支払いにはV i s aそしてM a s t e rカードが利用出来ます。屋内の駐車場の表示には、Pの上に屋根を表した印が有り、日本では見掛けない看板でした。



駐車料金精算機

2日間のプラハでの滞在でしたが、市内を歩いていて信号機に戸惑いました。日本ではどの位の時間で青信号から赤信号に変わるかがわかりますが、プラハでは予告無しに変わります。さらに青信号の時間がとても短いので、道路の横断は大変でした。又、落書きが目立ったことと、公園に犬の散歩に使う袋が常備されていたことが印象的でした。



スメタナホール（市民会館内）
「プラハの春音楽祭」はここでの交響詩「我が祖国」の演奏で幕が開く

かつて弘前大学に留学し太宰治の研究をしたという、もはや現在の我々日本人さえ忘れかけたような奇麗な日本語を話すガイドさんに2日間に亘りお世話になり、チェコの歴史・文化・社会の詳しい説明もいただき、同国への理解を一層深めることができました。

夜はプラハ城の近くにあるレストランで食事をしました。とても雰囲気の良いお店で懇親を深めることが出来ました。このような研修旅行を企画して頂いた企画委員会、そして事務局の皆様へ感謝申し上げます。



プラハ城近くの RESTAURACE U LABUTÍ